

砺波市立青島公民館

◆事業の目的

地域の子供たちを対象にその保護者を交え、ふるさとの伝統、文化とふれあい、学び、郷土への愛着を育む手伝いをする。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
9月29日(土)	伝統工芸截金(きりがね)工法学習	庄川生涯学習センター	子供7名、大人15名
11月24日(土)	ワラガイづくり体験	沖田宅車庫	子供5名、大人6名

◆事業の様子

☆ 伝統工芸截金(きりがね)工法学習

奈良時代から継承されている工法です。表具でその技法を生かされている方を講師に招き、そのなんたるかを学習しました。また、実演での金糸裁断、貼り付けではその繊細さにただただ驚くばかりでした。

日頃なにげなく見ている物にもいろんな技法が使われています。それが判ったことも収穫でした。



☆ ワラガイづくり

左義長に使用するワラガイづくりを体験しました。長さ4mのワラガイを9本作りました。担当した作業はワラを直径5～6センチほどの束を手渡す仕事です。ときどき、細すぎる、端が揃っていない、などと叱咤激励もありましたが、無事完成。一月の左義長まつりへの参加を約束して解散。



◆事業の成果と課題

東山見公民館と連携することで事業への新規参加者を増やすことができた。そして伝統工芸、伝統文化を学ぶ機会をつくったことにより、参加者の郷土愛を醸成することができた。

今後の課題としては、子供とその保護者が参加いただけるような企画を立案し、伝統文化の継承者育成ができるような実学的な事業展開を行う。例えば、ワラガイづくりの場合は、子供たちが制作したワラの造作物を実際の左義長で使用するなどし、保護者を含む地域の大人もその成果を身近に感じることができる企画を実施する。